

詩界

第268号

目次

題字 土屋竹雨
表紙絵 福沢一郎

特集 困難な時代の詩

記憶と追慕を重ねて 麻生 直子 4

困難の時に詩を書くということ 江口 節 8

困難な私の詩 下地 ヒロユキ 13

しなやかなる、困難な時代の詩たち 浜江 順子 17

詩人は異邦人である 倉持 三郎 21

時代閉塞と寓喩の詩法―岡崎純の小さな叙事詩 金田 久璋 25

小さなホウキ 清水 恵子 31

困難なときの詩、あるいは困難なときこそ詩
〈ベンガル詩はそれでも愛を詠う〉

丹羽 京子 35

技術と哲学 佐川 亜紀 40



航路を照らす灯火を 塚本 敏雄 44

危機の時代の詩 —— 『死の灰詩集』をめぐって 佐藤 伸宏 49

国内亡命の詩人たち（ドイツのばあい） 神品 芳夫 55

アジア文学の状況とその受容について —— 秋谷豊と歩いたアジア —— 鈴木 豊志夫 59

詩界アンケート

「私の心に残る詩句」 70

船木俱子／高島清子／桑田窓／植木信子／武西良和／綾部清隆／頼圭二郎／望月苑巳／
名古きよえ／瀬崎祐／松尾静明／根津真介／八木真央／池田瑛子／紫圭子／下川敬明／
植野正治／外村文象／真崎希代／秋山公哉／新井啓子／花房睦子／青木善保／宮田小夜子／
磯貝景美江／水橋斉／池田順子／洲浜昌三／新井豊吉／梅山憲三／宮城ま咲／浅井たけの

詩界フォーラム

詩の評論・研究書・評伝・詩集翻訳書・エッセイ集 78

会員刊行詩集 84

会員編集発行詩誌 87